



平成22年11月号

悪魔の農薬【ネオニコチノイド】

『人には低毒性』・『害虫には効果』の夢の新農薬として登場した【ネオニコチノイド】は悪魔の農薬だった。第2のアスベストになりかねない。有機スーパーヒーローとして登場したが、最近、世界各地で多発している『ミツバチの大量死』の主因と疑われ、フランスなどでは使用禁止になった。日本では、その使用量は中国の100倍ともいわれ、さらに食品残留基準はEUに比べて数10倍～数100倍も緩く、人に対しても深刻な被害が出ていることが分かってきた。

- ① ネオニコチノイドは超微粒で、ミツバチの中枢神経を興奮させて狂い死にさせ、方向感覚がマヒして巣に戻れずに死んでいたケース。
- ② 有機リン系のスミオチンが数100m範囲の拡散に対し、ネオニコチノイドは半径4km四方に拡散し、ミツバチ大量死を引き起こし、周辺住民も毒の霧を吸わされる。
- ③ 無臭なので、ミツバチは警戒せず、農薬が付着しても気がつかず、さらに汚染された葉の水滴や、田んぼの水などを飲む。

前橋市周辺での松くい虫防除の空中散布後、心電図に著しい不整脈を示す患者が急増した。サラリーマンが方向感覚を失って会社にたどり着けなくなった。OLが具合が悪くなって這ってやってきたという症例は、心電図が同じパターンで乱れていたという。同じ神経毒性でも、ネオニコチノイド系は神経伝達を阻害して行動抑制的に働くので、ハチは自分の巣に帰れず、人間はうつ病、ひきこもりになってしまう。前橋市の青山美子医師は最近のうつ、引きこもり、自殺の急増の背景に、ネオニコチノイドの影響の可能性があるとして指摘している。

青山医師はリンゴを常食している人、ペットボトルのお茶、天然水をがぶ飲みしている人に神経症状が現れているとはっきり言っている。

ネオニコチノイド系の農薬の人体に対する悪影響をきちんと科学的に検証し始めたのは、数人の医学者だけで、厚生労働省の役人たちは資料を見もせず、鼻であしらってこの問題を考えようともしないそうだ。

ある医者が強調されたのは、自然の山の水、御不動様の水、山のわき水、などというものを飲まないほうが良い。ネオニコチノイド系の農薬は地下水に入り込み、見た目には綺麗な清水はネオニコチノイド系の農薬で汚染されているというのだ。特にその周囲数十キロメートルの範囲にゴルフ場があるようなところの湧水は飲まない方がよい。ゴルフ場は農場ではないので、農薬の規制など無い。あの綺麗なグリーンを保つために大量の農薬をまき続けている。湧き水だから、自然で健康に良いと思ったら、大間違いだ。湧き水や、どこぞの山から汲み出した自然水などどうたっているペットボトル入りのいわゆるミネラルウォーターはネオニコチノイド系の農薬に汚染されているらしい。

代表的ネオニコチノイド系農薬「イミダクロプリド」の危険性

(『JOURNAL OF PESTICIDE REFORM (農薬改良ジャーナル)』2001年春号 第21巻No1より)

ネオニコチノイド系農薬の残留基準日欧米比較 (単位:ppm)

①急性毒性	実験動物では、無気力、呼吸困難、運動失調、体重低下、けいれんなど。
②生殖障害	妊娠動物では、流産、低体重仔が増える。
③遺伝子損傷	農業での使用は、(作物に) 遺伝子損傷の一種増加。
④鳥類被害	ある種の鳥類に急性毒性を発揮。
⑤水生動物	小エビは1ppb (ppb: 10億分の1以下) という超低濃度の「イミダクロプリド」で成長と大きさが阻害される。エビや甲殻類は60ppbで死滅する。
⑥土壌残留	ミネソタ州の野外テストでは、1年間使用で土壌濃度が減少することはなく、土壌中を移動。水質汚染源となりうる。
⑦農薬耐性	ミシガン州ポテト農地ではコロラド・ポテト甲虫が、使用2年で耐性を獲得。

作物	日本	欧州	米国
サクランボ	5.0	0.2	1.2
モモ	5.0	0.1	1.2
ナシ	5.0	0.1	1.0
リンゴ	5.0	0.1	1.0
イチゴ	5.0	0.01	0.6
ブドウ	5.0	0.01	0.2
トマト	5.0	0.1	0.2
茶葉	50.0	0.1	

『悪魔の新・農薬「ネオニコチノイド」』船瀬俊介著、三五館刊より抜粋作表